

長岡半太郎 （長岡半太郎） 物理學者、理學博士。慶應元年六月、二十八日肥前  
 國生れ、昭和二十五年十一月十一日没（二六五—一九五〇）。明治二十五年帝  
 國大學理科大學物理學科卒。二十六年歐洲留學、二十九年帝大教授、  
 昭和六年大阪帝大初代總長、九年貴族院議員、十二年文化勳章受章。  
 帝國學士院院長、理化學研究所主任研究員等歴任。  
 著書『田園銷夏漫錄』並『震後雜感』（大正十一年十一月五日岩波書店）、  
 『讀書の心』『學術隨想』（合著・帝國大學新聞社編集部編、昭和二十  
 一年二月十日帝國大學新聞社出版部）、『隨筆集』『原十力時代の曙』（昭  
 和二十六年六月、二十日朝日新聞社）等。  
 文獻、板倉聖堂著『長岡半太郎』（昭和五十一年四月十五日朝日新聞  
 社「朝日評伝選」）等。

